

1学期「かぼちゃのつる」

わがままに振る舞うかぼちゃが登場する物語を通して、わがままについて考えました。

「いけないことだとわかっているけど、ついわがままをしてしまうことがある。」とかぼちゃの気持ちに共感しながらも、「やりすぎはよくない。」「周りの人の気持ちを考える。」「人の注意を聞く。」など、わがままをしないで規則正しく生活することの大切さに気付きました。

2学期「くりのみ」（11月18日 校内研究授業）

北風の吹く寒い原っぱで、ばったり出会ったきつねとうさぎ。それぞれおなかをすかせており、別々に食べ物を探しに行きます。きつねはどんぐりをたくさん見つけて十分に食べましたが、残りを隠し、出会ったうさぎに「何も見つからなかった。」と言います。するとうさぎはやっと見つけた二つの栗の実の一つを、きつねに分けてあげようとしています。そんなうさぎの行動に心を動かされ、きつねは涙を流します。

授業では、涙を流したきつねの気持ちを考えました。「ありがとう。」「くりのみをもらってうれしい気持ち。」「うさぎが優しい。」などのうさぎのあたたかい気持ちにふれた発言や、「くりのみをもらったから私もあげたい。」「隠していたどんぐりを分けてあげる。」「ぼくもいっぱいあるから交換しようよ。」など、うさぎの行動を自分ごととしてとらえる発言がたくさん聞かれました。